

2016年度（第12回）精密工学会賞受賞業績の紹介

松 本 弘 一

松本弘一氏は、これまで一貫して長さ計測の高度化に取り組んできた。計量研究所では、「よう素安定化ヘリウムネオンレーザ」から「光周波数コム」を応用した国家標準まで幅広く研究され、長さ計測の分野においてはわが国だけでなく世界最先端を常にリードしてきた。最近では、周波数コムの発生技術、光コムによる絶対位置計測技術、長さ関連量の計測技術の研究に取り組んでいる。同氏が研究してきた長さ標準に関する技術は、科学の基盤をなすばかりでなく、さまざまな半導体製品や光学製品・機械部品あるいは大きな三次元空間での幾何計測による品質保証など、ものづくり産業にとっても重要な技術となっている。現場レベルで運用可能な、効率的で信頼性の高い光コムを使った計測技術の確立に取り組み、その実績で平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞（研究部門）「光コムによる通信帯標準の周波数計測に関する研究」を受賞した。また、1992年には「加工表面評価のための2色干渉センサ」により精密工学会沼田記念論文賞を受賞した。光計測分野での実績は、精密工学会だけにとどまらず応用物理学会、日本光学会の副幹事長を歴任した。また、出版物は光測定器ガイド（オプトロニクス社）をはじめ、数多い。

以上のように、松本弘一氏は長さ計測分野および幾何計測分野の研究開発と実用化を発展させ、学術、産業の分野において顕著な貢献があり、精密計測分野で果たしてきた功績は極めて大きい。

略 歴

- 1976年 東京大学精密機械工学博士課程修了（工学博士）
1976年 工業技術院計量研究所入所
1983年 米国標準技術研究所客員研究員（1年間）
1988年 工業技術院計量研究所量子部光学計測研究室室長
1988年 工業技術院長表彰
1991年 神戸大学非常勤講師（～1995年）
1995年 工業技術院計量研究所研究企画官
1997年 工業技術院計量研究所量子部部長
1999年 東京理科大学連携大学院教授（～2005年3月）
2001年 (独)産業技術総合研究所計測標準研究部門副研究部門長
2008年 東京大学大学院工学研究科精密工学専攻特任教授
2008年 文部科学表彰
2011年 東京電機大学非常勤講師（～現在）
2012年 (独)産業技術総合研究所名誉リサーチャー
2013年 東京大学大学院工学研究科精密工学専攻特任研究員（～現在）
2013年 (株)東京精密社外取締役（～現在）

1970年～ 23歳から国家プロジェクト等により光計測標準関連研究を行っている。

